

保健ガイド

保健センター
552・0061

9月の休日診療

診療時間	内科・小児科(昼間)	内科・小児科(準夜)	歯科休日診療
午前9時～11時45分 午後1時～4時45分	福生市保健センター 福生市福生2125-3 ☎552・0099	羽村市休日夜間急患センター (羽村市役所裏) 羽村市緑ヶ丘5-1-2 ☎555・9999	青松歯科医院 瑞穂町箱根ヶ崎2367-1 シャクレムク ☎556・4180
5日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	みずほ歯科医院 瑞穂町長岡1-51-2 ☎556・1182
12日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	岩永歯科医院 瑞穂町箱根ヶ崎105-1 ☎556・1123
19日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	殿ヶ谷歯科医院 瑞穂町殿ヶ谷906-11 ☎556・5667
20日(祝)	福生市保健センター	みずほクリニック 瑞穂町長岡長谷部31-1 ☎568・0300	箱根ヶ崎歯科医院 瑞穂町箱根ヶ崎182-4 ☎556・1118
23日(祝)	福生市保健センター	高沢病院 瑞穂町大字二本木722-2 ☎556・2311	山岸歯科医院 瑞穂町南平2-4-11 ☎556・7567
26日(日)	福生市保健センター	福生市保健センター	

※医療機関が変更になる場合もあります。受診の際は保険証をご持参ください。

- ◆健康相談(②のみ予約制)
 - ①9月2日、9日、16日、30日の木曜日午前9時30分～11時場所市役所1階ロビー相談員・保健師・栄養士
 - ②9月27日(月)午後1時30分～2時30分場所福生団地集会所相談員・医師(内科)・保健師・栄養士
 - ③9月30日(木)午後1時30分～3時場所中央図書館相談員・保健師・栄養士
- ◆育児相談(申込み不要)
 - ①9月3日(金)午後1時30分～2時30分場所福祉センター
 - ②9月15日(水)午前9時30分～10時30分場所保健センター
 - ③9月7か月児からの乳幼児内容身体測定・育児相談相談員・保健師・栄養士
- ◆子育て教室(予約制)
 - 9月24日(金)午後1時30分～3時30分場所福祉センター
 - 対象6か月児までの乳幼児内容子育てのお話とお母さんの健康のことなどと相談講師助産師・保健師
- ◆離乳食教室(申込み不要)
 - 9月8日(水)午前10時～11時30分場所保健センター
 - 内容離乳食の作り方、進め方(試食あり)講師栄養士・保健師
- ◆母親学級(全4回)
 - 9月2日、9日、16日、30日の各木曜日午後1時30分～3時30分場所保健センター
 - 内容妊娠中の健康管理や出産、新生児の保育など
- ◆歯科健康診査
 - 9月1日、15日(水)午後1時～2時(受付)場所保健センター
 - 対象4歳未満
 - 申込み前日午前中までに保健センターへ。
 - ※2歳児歯科健診も同時に実施(申込み不要)

胃がん検診を受けましょう
日時10月21日(木) 午前9時～正午場所保健センター

対象市内在住の35歳以上の方。なお、次のような方は受診できません。▼胃を手術した方▼現在、胃または十二指腸を治療中または経過観察中の方▼胃の検査、受診後1年を経過しない方▼妊娠中の方定員先着40人検診方法検診車による集団検診。バリウム投与・胃間接撮影。費用無料

申込み8月19日から電話で保健センターへ。

9月の乳幼児健康診査

健診内容	対象	健診日	受付場所・時間	備考
3か月児	平成16年5月生まれ	21日(火)	保健センター 午後1時～1時45分	◆母子健康手帳を必ず持参。 ◆6、9か月児健診は受診票も必要です。
6か月児	平成16年3月生まれ	満月齢後の6・7か月期	個別健診です。通知はしません。医療機関で受診してください。	
9か月児	平成15年12月生まれ	満月齢後の9・10か月期		
1歳6か月児	平成15年2月生まれ	28日(火)	保健センター 午後1時～1時45分	
3歳児	平成13年8月生まれ	7日(火)		

9月の予防接種

ポリオ生ワクチン

種別	期日	通知対象	備考
ポリオ1回目	24日(金)	平成16年1・2月生まれ	対象3か月～7歳6か月未満。春と秋2回受けて完了。※接種の際は予診票に必要事項を記入し、母子保健手帳と一緒に持参してください。
	29日(水)	平成16年3・4月生まれ	

受付時間午後1時15分～2時15分
場所保健センター

風しんの予防接種はお済みですか

今までに風しんにかかったことがない女性が、妊娠初期に風しんにかかると、「先天性風しん症候群」という難聴や白内障、心臓の病気などをもった赤ちゃんが生まれてくる可能性があります。将来生まれてくる赤ちゃんを守るために、まだ、風しんにかかったことがなく、予防接種を受けていない方は、ぜひ、風しんの予防接種を受けることをお勧めします。また、1歳から7歳6か月未満の方は公費で予防接種が受けられますので、早めに接種してください。

ご注意ください 小学4年生・中学3年生の日本脳炎の予防接種は9月まで

対象の方には通知をしていますが、未接種の方は、必ず保護者同伴で早めにお受けください。通知のない方は、保健センターにお越しください。

場所市内の指定医療機関
期間9月30日まで(各指定医療機関にご確認ください)
対象小学4年生・中学3年生
問合せ保健センター(☎552・0061)

医師会だより

最近手術は、内視鏡による手術が多くなり昔ほど腹部に大きく切開した痕が見られなくなりました。まず早期の胃癌については粘膜炎に由来する早期胃癌に対しては胃内視鏡で患部を生理食塩水で浮かせて同部分とその周囲だけを切り出している。また基本健診でひっかかるような大腸がんは肛門からの内視鏡を使い特別な鉗子(かんし)を使って取るといった、内視鏡だけで終わってしまうケースが増えてきました。それにはこの程度の癌であればリンパ節には転移していないという過去の膨大なデータにとどまらず、超音波検査、CT検査、MRI検査といった外部より体の内部がわかる機械の進歩が縮小手術を可能にしたと言ってもいいでしょう。

最近の腹部手術の進歩

また胃潰瘍、十二指腸潰瘍と言った胃酸ピロリ菌が関係した潰瘍は潰瘍治療薬が素晴らしく進化したおかげで手術するケースはほとんどなくなりました。胆石症は最近脂肪摂取の増大により多くなりましたが臍下(さいか)の部分を経路だけ切開して腹腔内視鏡を挿入し右腹部より鉗子を操作して胆嚢ごと取り出す手術に変わりました。年々新しい技術が取り入れられてロボットが人間の操作により手術を行うところまで来ています。

しかし中には一度も検査を受けず、初めて来た時にはすでに末期状態といった患者さんも依然としていらっしゃいます。検診は年一回、自覚症状がなくても行い、早いうちに見つける、その心が一番大事になってきています。

文責 渡辺医師
問合せ保健センター ☎552・0061

